

# あたま 市議会だより

第54号  
令和5年  
5月10日

## 令和5年5月臨時会 主な日程

5月22日(月) 本会議 10:00~

## 令和5年6月定例会 主な日程

6月 8日(木) 本会議 (議案上程) 10:00~

6月21日(水) 本会議 (質疑・一般質問) 10:00~

6月22日(木) 本会議 (質疑・一般質問) 10:00~

6月23日(金) 観光建設公営企業委員会 10:00~

6月26日(月) 総務福祉教育委員会 10:00~

6月28日(水) 本会議 (審議採決) 10:00~

※日程は変更になる場合がございます。

- P 2~6 令和5年2月定例会  
質疑および一般質問 (要旨)
- P 7 議会のはてな?
- P 8 令和5年2月定例会 議決結果
- P 9 賛否の分かれた議案
- P 10 委員長報告
- P 11 伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会調査結果報告
- P 12 議会からの報告・お知らせ



表紙写真：初島とカモメ

### 令和5年2月定例会について

2月定例会は、2月21日から3月15日まで23日間の会期で開催し、議案31件、報告1件、同意1件、発議案2件、報告書1件について審議し原案のとおり可決等されました。

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

Email gikai@city.atami.shizuoka.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

熱海市議会



# 質 疑 一 般 質 問



よねやまひでお  
**米山秀夫** 議員

自民党・公明党・女性の会  
**熱海梁山泊**  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
広域行政推進特別委員会

## その他の質問項目

■③緊急伐採について■市長自身の施策における説明責任について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## ④ 宅地造成、ブロック積み擁壁の問題について 第二の盛土の是正工事について

**〔質問〕** 宅地造成地におけるブロック積み擁壁が崩壊を起こし、長期間は正ができていない。令和2年移管の際に現土地所有者に引き継がれている。移管に際し、新たな工事行程を提出させ復旧工事を行わせることが可能だったはずだがその対応が出来ていない。

**〔答弁〕** 現土地所有者の地位の承継後、開発行為の再開に向けた協議を行っていたが、2021年7月の伊豆山土石流災害によって、

当該協議に遅れが生じている。現在、現土地所有者と開発行為の今後について協議を加速している。

**〔質問〕** 第二の盛土の是正工事について、源頭部上部の盛土もコンサル資料の比較検討で最も推奨していない暫定的な措置を採用している。恒久的な是正は、違法な土砂の全量撤去及び施工箇所法面保護が必要となる。いつになったら是正に対する工程を地域住民に示すのか。

**〔答弁〕** 恒久的な復旧工事について、林地開発許可等の基準に基づき復旧するもので、⑦土砂投棄箇所については、土砂を撤去後、植生シートを張り法面の保護を行う。その後、

③緊急伐採箇所について、⑦土砂投棄箇所から撤去した土砂を植栽のため客土として再利用し、植栽を行う計画。恒久的な復旧工事の工程などについては地元住民に説明する方向で県と事業者と調整を行っている。

## ふるさと納税について ※DMOについて

**〔質問〕** ふるさと納税の返礼品にはどのようなものがあるのか。金額で見た場合、どの商品がどの程度のシェアを占めているのか。

**〔答弁〕** 観光土産で人気のある干物やスイーツなどの物産品と市内のホテル旅館の宿泊券などを提供している。令和4年12月末時点の返礼品のシェアは寄附額で見した場合、宿泊券の人气が高く寄附額の98%を占めている。

**〔質問〕** ふるさと納税の寄附額を増やすには何が必要か。

**〔答弁〕** 熱海のふるさと納税について、特に多くの寄附者様選ばれている宿泊に関する返礼品を全国の皆様知っていただく事だと考える。

**〔質問〕** ※DMOに求められるものは地域の稼ぐ力を引き出すことである。市内経済に対して好循環を生み出すことのできる宿泊を伴う返礼品に対して※KPIを設定し、※PDCAサイクルを確立し、ふるさと納税額の増加に反映させていくという、やり方もあると思うがいかがか。

**〔答弁〕** ※熱海観光局の取り組みとしては、誘客促進のほか地域産品の開発、販売促進に向けた取組みも位置付けている。本市のふるさと納税返礼品の大半となる宿泊券は地域産品であり、その開発・販売促進は熱海観光局の役割でもあると考える。



すぎやまとしかつ  
**杉山利勝** 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会

(副委員長)

公共施設整備等特別委員会

## その他の質問項目

■重層的支援体制整備事業について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



# 質 疑 一 般 質 問



たかはし ゆきお  
**高橋幸雄** 議員

熱海成風会  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
広域行政推進特別委員会  
(副委員長)

## 市道伊豆山神社線拡幅について

### その他の質問項目

- 伊豆山地区の復興について
- 消防団第4分団詰所について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



**質問** 伊豆山神社から県道十国峠伊豆山線に繋がる狭い区間においては、通学路にもなっていることから、車両の接触事故や歩行者の安全が危惧されている状況であり、議会でも度々拡幅を質してきました。以前の計画では令和3年に着工開始予定だったが未だに着工されていません。進捗状況今後の見通しはどうなっているのか。

**回答** 伊豆山神社から伊豆山小学校の前の通り県道十国峠伊豆山線に至る、約330メートルの区間について事業に着手している。令和5・6年度で全体の詳細設計を実施し、道路計画線が決定となる予定である。地元や関係する地権者の皆様に丁寧な事業の説明を行い道路整備を進めている。

**質問** 伊豆山神社から伊豆山小学校までの間には急な崖が道路に接しており、台風などの強風時には倒木や折れた枝が落下し、通行する歩行者や車両に危険が生じている。この崖の安全対策は検討しているのか。

**回答** 拡幅整備工事において、支障する木を伐採、安全なこう配に切土、法面保護などを行うことにより安全を確保できると考えている。

**要望** この箇所での拡幅整備は大変な工事であることは、重々承知をしている。当局は、地域に丁寧な説明しながら、令和7年度以降に着工することを強く要望する。



はしもと かずみ  
**橋本一実** 議員

熱海市民クラブ  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
(委員長)  
広域行政推進特別委員会

### その他の質問項目

- 生活困窮者支援策について
- 中学校の部活と地域の融合について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## 令和5年度重点施策について／宿泊税について

**質問** 令和5年度重点施策で、市民が熱海の将来に明るい希望を抱ける新事業と、コロナ禍と物価高騰対策につながる、市内経済の救いとなる波及効果の優れた事業はどれか。

**回答** 観光・経済の活性化では熱海型※D/MOの構築や観光財源の確保に向けた取り組み、教育・福祉の充実では重層的支援体制整備事業の取り組み、仕事・くらしの変革では旧網代小学校の施設利用による地域拠点の整備等、これら「熱海2030ビジョン」を着実に進めていくことで市民の皆様が将来に明るい希望を抱いていただけるものと確信している。波及効果の優れた事業は、SNSなどによる情報発信及び※OTAを活用した誘客宣伝プロ

モーション等と考える。

**質問** 宿泊税について、宿泊業界とのコンセンサスは現在どのように得られている状況なのか。

**回答** 第2回目の行財政審議会において、市から事業者への丁寧な説明の機会を設けるべきとの指摘をいただいた。現在、宿泊事業者の会合などに伺い、税の創設に理解をいただけるよう説明を尽くしている。

今後の予定は、宿泊事業者の方々との合意形成が前提となり、これが整った段階で考えていくものと認識している。

**要望** 特別徴収義務者などの関係者の意見集約を丁寧に行い、特に実施時期などについては現下の経済状況等を充分留意し慎重に進めていただきたい。



たけべ たかし 議員  
**竹部 隆**

熱海成風会  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 民泊に対する不安を承知か
- 市職員のマンパワー不足解消は

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



市内の産婦人科医の現状について／高齢者に対する外出支援策におけるバス券またはタクシー利用券の交付事業について

【質問】 本市の産婦人科医の現状はどうなっているのか。市民の出産等が期待できないのであれば、子供を増やす方策について市では持ち合わせているか。

【答弁】 令和2年3月より市内における産科は1医療機関のみとなった。妊娠出産にかかる環境整備に胎児一人当たり2万円をあたみっ子出産応援金として支給する事業や出産時の移動に際し救急自動車で搬送を行う、マタニティ・サポート1

19事業を開始している。生後四ヶ月までの乳児に対しての各種相談業務を行う、こんちは赤ちゃん事業なども行っており、令和5年1月より一人5万円相当の出産子育て応援給付金事業を開始している。

【質問】 70歳以上が40・6%の高齢者施策の一つとして、他市町同様のタクシー券交付事業を開始しないか。

【答弁】 これまでも提言等をいただいております。他市町の状況も承知し

ている。また交付事業により通院や買い物等の外出による移動にかかる経費節減や生活費節約が図られ一定の効果があることも理解している。外出回数が増加や経済的な安定につながるのか、特定の方だけに偏った支援策にならないか等、慎重に判断する必要がある。現時点では経済的負担軽減の支援策の制定予定はないが、高齢者の状況や地域の実情等をとらえながら引き続き取り組んでいく。

旧網代小学校拠点整備事業について

【質問】 網代地区の課題などの現状について伺う。

【答弁】 人口減少と高齢化が著しく、高齢化率は57・9%、生産年齢人口は489人、年少人口は49人であり、高齢者を支えるマンパワーが不足している状況である。

【質問】 旧網代小学校跡地の具体的な改修内容と活用方法について伺う。

【答弁】 設計業務委託経費、建築工事、設備工事、外壁等改修工事の計3億2,791万4千円を計上している。改修経費の2分の1を国のデジタル田園都市国家構想交付金の地方創生拠点整備タイプを活用する。改修内容は、地域交流スペース及びイベント・交流トオフィス8区画を1階と

2階に、※コワーキングスペース1室を2階に整備し、WiFi環境整備も行う。また1階及び駐車場としても活用するグラウンドの屋外トイレ改修も行う。さらに屋上防水、外壁改修、高架水槽取替、水道管の一部改修も行う予定である。

【質問】 今後の網代地区の活性化の取組みについて伺う。

【答弁】 地区人材の発掘と養成、域外からマンパワーを求める手段としての移住定住の促進と交流人口、関係人口の増加を図るため、地区の中心に位置する当該施設を、「人と人・人と事業・人と資産をつなぐハブ機能の拠点」として整備していく予定である。



かわぐち たけし 議員  
**川口 健**

熱海成風会  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
広域行政推進特別委員会  
(委員長)

その他の質問項目

- DX推進について
- 地球温暖化防止に向けた本市の方と取組みについて

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



# 質 疑 一 般 質 問



たなかひでたか  
**田中秀宝** 議員

自民党・公明党・女性の会  
熱海梁山泊  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
(委員長)  
公共施設整備等特別委員会

## その他の質問項目

■シルバー人材センターへのインボイス制度の適用について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## 日曜保育の実施について／エネルギー価格及び物価高騰に対しての支援について

**質問** 日曜保育の重要性をどのようにとらえているのか。

**答弁** 日曜祝日に保育を必要とする世帯があまりなく、保育士不足による配置調整も難航し、現在では民間園1園のみである。現状の保育士不足の状況を改善していくことが前提となることから、今後の課題の一つとしてとらえている。

**質問** 日曜保育により事業者は日曜・祭日勤務が求められ、保育者も就労の機会と所得の確保など生活環境の向上が図れる。認定こ

ども園は条例改正が必要だが、他の園を利用し日曜保育を実施することは本市でも可能だと思ふが。

**答弁** 基幹園を定めての日曜休日保育の実施については、本市においても可能であると認識している。今後適正な保育士の人員配置を前提として、公立園における実施、民間園への委託を含め検討していく。

**質問** 政府の負担軽減策によって電気料金は1月分からいったん下がるが軽減策は本年9月使用分までであり

今後電気料金自体が値下がりする材料は少ない中、軒並み食料品なども値上げとなり、市民生活や事業者の負担は厳しい。再度エネルギー価格高騰対策を実施すべきだが。

**答弁** 再度の実施については産業界の状況や、新型コロナウイルス、物価高騰に対する国等の支援を見極めながら取組んでいく。



## 伊豆山土石流被災者の生活再建について／在宅高齢者等への食事の提供事業について

**質問** 伊豆山土石流被災者の生活再建は個々の状況で異なり、どの支援策が自分の対象かわからない。また高齢等で手続きが難しいと言つ方もいる。伊豆山ささえ逢いセンターがある中で新たに被災者支援室が設置されるが、今後この2つの機関についてはどのような被災者の生活再建を進めていくのか。

**答弁** 伊豆山ささえ逢いセンターにより、慣れない場所での避難生活による生活上の不安や健康上の悩み等について相談員や保健師が訪問し、寄り添い等の支援を行ってきた。今後はその支援に加え、個々の生活再建に向けての事務的なサポート支援等が必要となる。2つの部署が連携し、両輪で生活再建に向けた支援を

進める。

**要望** 警戒区域内の方々の自宅は、被害状況により今後必要な費用や解体による費用に差がある。一律的な費用の上乗せでなく個々の被災状況に合わせた段階的な支援の検討をお願いする。警戒区域外、際付近で生活する方々の中にも、罹災証明の交付を受けた方や商売等をされていて被害を受けた方々もいる。併せて支援の検討をお願いする。

**質問** 在宅高齢者等給食サービス事業は、食事の提供により高齢者の生活の支えになっている。事業を継続する課題と対応を伺う。

**答弁** 昨今の物価高騰等による食料料金の値上がりにより、適正な利用者負担を求める必要がある。



ごとうゆういち  
**後藤雄一** 議員

自民党・公明党・女性の会  
熱海梁山泊  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
公共施設整備等特別委員会  
(副委員長)

## その他の質問項目

■高齢者の交通安全対策について  
■市内における路線バス運行方法

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから





むらやまけんぞう 議員  
**村山憲三**

熱海市政調査会  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■ 芸者及び置屋廃業の急増について ■ 暗号資産とふるさと納税での財源確保

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



ブルネイ・ダルサラーム国からの来熱視察について  
韓国庭園やイベント広場を利用したイベント等の開催について

〔質問〕ブルネイ・ダルサラーム国からの来熱視察に伴い、企業や旅行代理店からの視察団の日程と視察内容及び今後の方針について質す。

〔答弁〕ブルネイ・ダルサラーム国との交流は、本年1月に議長らとともに現地を訪問し、2025大阪・関西万博に向けて、相互交流を深めていくことを確認している。同時に3月13日より現地旅行会社のスタッフを熱海に派遣いただき、ブルネイ・ダルサラーム国に

おけるプロモーション及び旅行商品の造成をお願いしているところである。今後は、相互に国際観光展などの場を活用し、食や文化、教育に係る相互交流事業について取組んでいく。

〔質問〕一般社団法人日本韓食振興協会から韓国庭園や熱海港イベント広場を利用した「日韓グルメフェア」開催について、「熱海産キムチ」の提案など、具体的な提案が届いていることに対する当局の考えを質す。

〔答弁〕熱海梅園内にある韓国庭園は本市の国際交流の歴史上重要な施設であり、過去に日韓文化観光交流なども行っていることから「日韓グルメフェア」の開催の可能性はあるものと考ええる。また熱海港イベント広場については、現在、行政代執行による土砂の仮置き場として使用されていることから、現況復旧されれば利活用が可能となると考える。

新たな子育て支援策について  
高齢者の外出支援について

〔質問〕令和5年度、本市は新たな子育て支援策を打ち出されたのか。

〔答弁〕令和3年度より3人以上の多子世帯の助成、また39歳以下の結婚補助金制度を実施している。令和4年度は低所得の子育て世帯に特別給付金を支給、令和5年度は小学生までの子育て世帯を対象に基礎調査を実施し、支援策の構築に取組みたい。

〔質問〕本市の人口と出生数の減少は突出しており、特に出生数の減少を食い止める施策が必要である。令和5年度、保育料完全無償化や給食費の限定的無償化、現金支給等を実施できないか。

〔答弁〕財政運営の見通しを的確にとらえ、今後も継続して検討する。

〔質問〕本市の高齢化率は令和5年1月末現在48・7%である。さらに一人暮らしや高齢者のみの夫婦世帯は1万世帯を超え、買い物や通院などの外出に支障をきたしている方は大勢いる。市長は高齢者の外出支援に今後どのような取組みをされるのか。

〔答弁〕今年度、中野地域において運転ボランティアによる実証実験を行った。新年度は他地域での実証実験を行い、その地域に合った支え合いによる仕組みづくりを進めていく。

〔要望〕前・現市長は路線を決めての試験運行を実施したが実現しない。私はタクシー利用の外出支援を提案する。市は有効な外出支援の早期実施を。



いなむらちひろ 議員  
**稲村千尋**

熱海成風会  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
(副委員長)  
公共施設整備等特別委員会  
(委員長)

その他の質問項目

■ 財源確保について ■ 熱海市犯罪被害者等支援条例について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



※ 〃で表記されている言葉については、P7の解説を御参照ください。

# 質 疑 一 般 質 問



すぎやまきょうへい 議員  
杉山 恭平

熱海成風会  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
公共施設整備等特別委員会

## その他の質問項目

■ 令和5年度施政方針について  
■ 観光地域づくり整備計画について

2月定例会質疑・  
一般質問の様子は  
こちらから



## 令和5年度熱海市一般会計予算 小学校水泳教室 業務委託料 / 熱海市指定金融機関の指定について

**質問** 小学校における水泳の授業が外部委託されるが、対象となる学校はどこで委託先はどこか。

**答弁** 泉及び初島を除く市内小学校が対象であり、場所はマリンスパあたみで行う。プール監視員がおり安全に授業を行えること、また専門家による指導を仰ぎ、授業の質の向上などが期待できる。

**質問** 授業日に一般利用者の受け入れはあるか。盗撮被害や性犯罪を危惧する。どうやって児童を守る考えか。

**答弁** 一般利用者として児童はレーンを分けて授業を行う。更衣室も区画を分けて使用する。防犯カメラがすでに設置されていると共に、プール脇に監視員を置き、引率教職員と共に常に施設全体の監視を行い、児童の安全確保を最優先に実施する。

**質問** 指定金融機関変更に伴う市民生活への支障はあるか。公金収納業務に係わる手数料の改定はあるか。

**答弁** 窓口手数料の有償化及び引き上げの要望はあるが、令和5年度からの見直しは見

合わせとなった。

**質問** 人口減少、少子高齢化、ゼロ金利、マイナス金利等により金融機関も経費削減に取組んでいる。今般の変更で従来通りの窓口運営がされるか。

**答弁** 指定金融機関は午前9時より午後3時まで運営していたが、昼の交代要員確保が難しいこと等から昼休業導入に係わる要望がなされた。昼休業時は会計課にて収納業務を行う予定である。

# 議 会 の は て な ?



## 質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※\_\_\_で表記されている言葉についての説明です。

**P2** **P3** **DMO**

「Destination Management/Marketing Organization」の頭文字を取った単語で、「自然や食など地域の観光資源に精通し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを行う法人のこと。

**P2** **KPI**

「Key Performance Indicator」の頭文字を取った単語で、目標達成の過程における達成度や進捗を、組織や個人ごとに測定するための指標のこと。

**P2** **PDCAサイクル**

Plan (計画) Do (実行) Check (評価) Action (改善) の頭文字を取った単語で、この4つのステップを循環させ、継続的に実行することで品質や生産性の向上、業務の改善等を促す方法のこと。

**P2** **熱海観光局**

熱海型の観光地づくりを行うために、設置を指しているDMO法人のこと。

**P3** **OTA**

「Online Travel Agent」の頭文字を取った単語で、インターネット上だけで、取引を行う旅行会社のこと。

**P4** **コワーキングスペース**

独立して働く様々な年齢、職種、所属の人たちが空間を共有しながら仕事を行う場所のこと。

## 2月定例会 議決結果(本会議)

### 〈 市長提出の議案等 〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第1号 令和5年度熱海市一般会計予算	可決(全員)	議案第18号 熱海市行財政審議会条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第2号 令和5年度熱海市国民健康保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第19号 こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決(全員)
議案第3号 令和5年度熱海市介護保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第20号 熱海市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第4号 令和5年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計予算	可決(全員)	議案第21号 熱海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第5号 令和5年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(全員)	議案第22号 熱海市伊豆山土石流災害に伴う固定資産税及び都市計画税の減免の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第6号 令和5年度熱海市水道事業会計予算	可決(全員)	議案第23号 熱海市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第7号 令和5年度熱海市下水道事業会計予算	可決(全員)	議案第24号 熱海市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第8号 令和5年度熱海市温泉事業会計予算	可決(全員)	議案第25号 熱海市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第9号 令和4年度熱海市一般会計補正予算(第6号)	可決(全員)	議案第26号 熱海市児童発達支援センター条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第10号 令和4年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)	議案第27号 熱海市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第11号 令和4年度熱海市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	議案第28号 熱海市水道条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第12号 令和4年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	議案第29号 熱海市指定金融機関の指定について	可決(全員)
議案第13号 令和4年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	議案第30号 静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	可決(全員)
議案第14号 令和4年度熱海市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)	議案第31号 初島辺地に係る総合整備計画の変更について	可決(全員)
議案第15号 令和4年度熱海市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)	報告第1号 専決処分の報告について(市有地内樹木のかしによる事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第16号 令和4年度熱海市温泉事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)	同意第1号 固定資産評価員の選任について	同意(全員)
議案第17号 熱海市犯罪被害者等支援条例	可決(全員)		



## 〈 議員提出の議案等 〉

件名	議決結果	件名	議決結果
発議案第1号 熱海市議会の個人情報の保護に関する条例	可決(全員)	伊豆山土石流災害に関する調査報告書	決定(全員)
発議案第2号 熱海市長の在任期間に関する条例	否決		

## 2月定例会 賛成・反対が分かれた議案等(本会議)

議員名・会派名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
	橋本一実	村山憲三	欠番	後藤雄一	米山秀夫	欠番	田中秀宝	杉山恭平	赤尾光一	越村修	竹部隆	川口健	杉山利勝	高橋幸雄	稲村千尋	議決結果
議案番号	市民ク	市政調		梁山泊	梁山泊		梁山泊	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	
発議案第2号	×	○		退	○		○	×	×	-	×	×	×	×	○	否

議長(10番 越村修)は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

議決結果 可=原案可決 否=否決 採決結果 ○=賛成 ×=反対 退席=退

会派名 成風会=熱海成風会 梁山泊=自民党・公明党・女性の会 熱海梁山泊 市民ク=熱海市民クラブ 市政調=熱海市政調査会



## ●観光建設公営企業委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第23号 議案第28号	可決 (全会一致)	議案第1号令和5年度熱海市一般会計予算のうち、第6款観光商工費について、観光振興に係る経費として、観光ブランドプロモーション事業費等を計上し、商工業振興のための経費として、事業者支援業務経費等を計上した。また議案第23号熱海市手数料徴収条例の一部を改正する条例について、宅地造成等規制法の一部を改正する法律の施行に伴い、同法附則による経過措置期間における手数料を定めることから、所要の改正を行うものである。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

## ●総務福祉教育委員会

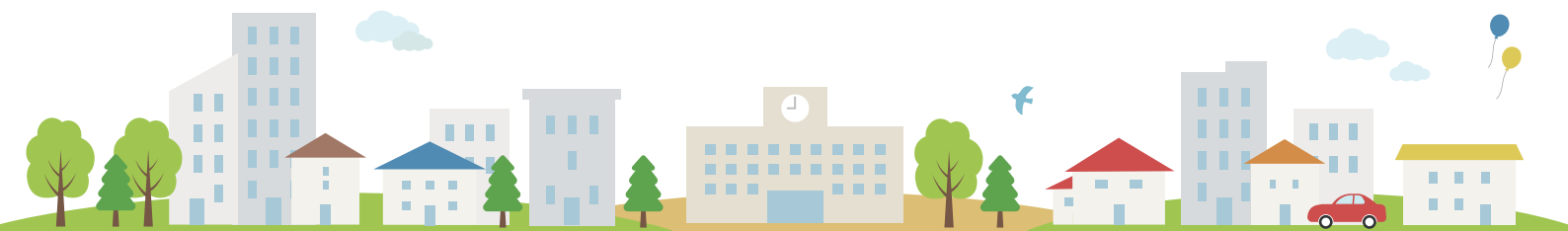
付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第29号 議案第30号 議案第31号	可決 (全会一致)	議案第1号令和5年度熱海市一般会計予算のうち、第3款民生費について、福祉関係法令に基づく扶助費、高齢者・障がい者・児童に関する福祉経費等が計上されており、現在福祉の複数の制度の支援を受けていたり、各制度の狭間で支援を受けられない方にも対応できるようにするための重層的支援体制整備事業や伊豆山土石流災害の被災者に対する生活再建支援経費等を計上した。また、議案第17号熱海市犯罪被害者等支援条例について、犯罪被害者等が受けた被害を回復または軽減し、再び平穏な生活を営むことができるよう支援するため、犯罪被害者等の支援に関し必要な事項を定めることとしたことから条例を制定するものである。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

## ●広域行政推進特別委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第1号	可決 (全会一致)	各広域行政推進協議会等に係る運営費負担金などが計上されており、必要な措置と認める。

## ●伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
伊豆山土石流災害に関する調査報告書	可決 (全会一致)	委員長が調査報告書の総括部分を朗読しました。総括の内容についてはP11に掲載のとおりです。



# 伊豆山土石流災害に関する

## 調査特別委員会 調査経過を報告します

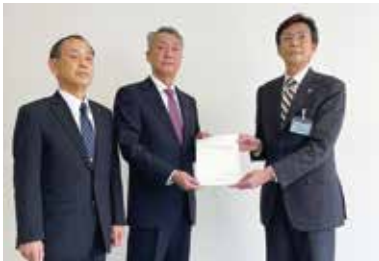
令和3年11月5日に設置された伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会は、令和5年3月9日までに計17回開催、参考人招致延べ31人、証人尋問延べ8人を行い調査し、令和5年2月定例会において、その調査報告書を全会一致で決定し、調査を終了しました。調査報告書（総括）については以下のとおりです。

### 調査報告書（総括）

本委員会の調査事項は、「熱海市伊豆山を流れる逢初川の上流部に造成された盛土に関する事項について」である。もっとも、当該盛土が行われた時期は、今より10年以上前であった。そのため、当該盛土に関わる関係人として招致した参考人及び証人からは、「記憶が定かではない」との供述がなされることも多かった。また、供述の内容と公文書に記載された内容が矛盾していたり、参考人相互や証人相互の供述が相反したりすることも数多く見受けられた。したがって、当委員会において、当時の事実関係を認定することは困難であると言わざるを得ない。しかしながら、参考人や証人の供述からすれば、当時の市は、届出者の行為に対し、極めて困難な対応を強いられていたことは、容易に推測できる。また、県は、県担当者自身が崩落の危険性を指摘し、届出者側から面積が1ヘクタールを超える盛り土積込が提出されたにもかかわらず、担当部局が、市に対し、必要十分な協力を行うことはなかったと推測する。その結果、当時の市が、主体的に対応せざるを得ない状況とされた。しかしながら、それでも、土の採取等規制条例に規定する届出者に義務づけられている項目が一部未記載のまま届出書を受理したこと、別紙計画図が未添付のまま変更届を受理したことなど、当時の市が、条例で定められたとおりの事務を行っていなかったことは事実である。また、当時の市が、措置命令の発出を見送った後の対応についても、一定の防災工事が行われたとしても土採取等に関する技術基準に適合するまでの防災措置が執られたとは考えられないのであって、当時の市が、行政指導や措置命令等の行政処分を行うに際し、その質やスピード感について、より最善の対応となるための手続を行う余地は十分にあったと思われる。今後は、特に法や条例を遵守しない者、技術的能力が不確かな届出者等の困難な事例に対し、毅然とした対応のもと、厳格に事務処理を行えるよう職員の能力向上維持に努めるとともに、市長を始め組織での対応を心がけ、必要に応じて、警察をはじめとする関係各機関の協力を求めるよう要望する。



最後に、伊豆山土石流災害に関しては、民事において訴訟提起、刑事において告訴・告発がなされており、これら手続の中でより専門的な調査・捜査等が行われていることから、本委員会としては、関係する全ての者の責任について言及しない。市長及び行政当局は、多くの尊い命と住民の財産を奪われてしまった事実を重く受け止め、本委員会報告及び司法判断等を尊重し、しかるべきその責任を負うべきである。



令和5年3月15日、越村修議長及び伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会稲村千尋委員長から齊藤栄熱海市市長に調査報告書を手渡しました。

調査報告書（全文）につきましては、熱海市議会ホームページに掲載しております。

熱海市議会ホームページ内

「会議結果」→「伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会調査報告書」



## 新議員の紹介

任期満了に伴う熱海市議会議員選挙が4月23日に行われ、17人の候補者が15の議席をめぐり選挙戦を繰り広げました。投票者数15,616人、投票率は51.18%でした。

このたび当選した議員を紹介します。なお、正副議長及び各委員会の構成などについては、臨時号（6月9日発行予定）にてお知らせします。

(得票数順)

	氏名	年齢	住所	党派	当選回数
1	かわぐち たけし 川口 健	55歳	下多賀	自由民主党	5回
2	ごとう ゆういち 後藤 雄一	61歳	春日町	公明党	2回
3	かなもり かずみち 金森 和道	66歳	桜町	無所属	4回
4	いなむら ちひろ 稲村 千尋	71歳	上多賀	自由民主党	8回
5	せんみょうじ 泉明寺みずほ	52歳	桜町	無所属	3回
6	すぎやま きょうへい 杉山 恭平	42歳	清水町	自由民主党	2回
7	こしむら おさむ 越村 修	58歳	下多賀	自由民主党	4回
8	はしもと かずみ 橋本 一実	58歳	清水町	無所属	5回
9	やまだ かげあき 山田 景照	40歳	西熱海町一丁目	無所属	1回
10	たけべ たかし 竹部 隆	75歳	西山町	自由民主党	3回
11	あかお こういち 赤尾 光一	52歳	海光町	自由民主党	3回
12	たなか ひでたか 田中 秀宝	54歳	青葉町	自由民主党	7回
13	いの ようへい 新野 陽平	40歳	梅花町	無所属	1回
14	むろふし ゆうぞう 室伏 友三	74歳	泉	無所属	1回
15	たかい かずゆき 高井 一幸	82歳	上宿町	日本共産党	1回

### 編集後記

4年間「議会だより」をお読みいただきありがとうございます。議員の仕事内容の理解、市民の皆様の暮らしに少しでも役立てたこと幸いです。

この4年間で振り返ると、新型コロナウイルス感染症の世界的流行は基幹産業に大打撃を与え、伊豆山土石流災害の発生は、尊い生命と財産を奪い伊豆山住民の生活を一変させるなど明るい話題に乏しい4年間でありました。

今後は、コロナ禍後の賑わいまちづくり、伊豆山の復旧・復興に力を入れるとともに住民福祉の向上に努めてまいります。

今年には議員改選の年で、次回の「議会だより」は新たなメンバーで、市民の皆様には議員の活動をわかりやすくお届けすることになります。多くの市民に読んでいただき、応援していただけるよう編集委員も努力して参りますので、今後とも引き続きお読みいただきますようお願いいたします。

議会だより編集委員一同

次回の市議会だよりは、6月9日発行予定です。

<議会だより編集委員会>委員長：杉山 利勝 副委員長：橋本 一実

委員：赤尾 光一・杉山 恭平・後藤 雄一

(令和5年4月30日現在)